

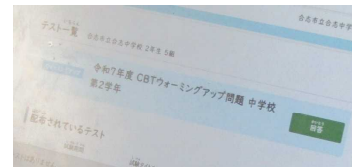


合志の旋風^{かぜ} ～自律貢献～

令和7年11月28日（金）No 29 発行
文責：松本 卓也

きめ細やかな指導改善につなげるために ～CBT～

熊本県学力・学習状況調査を、1年生は12月5日（金）に、2年生は12月8日（月）に実施します。調査の内容は、①学力の状況に関する調査（国語・数学・英語）と、②学習の状況に関する調査（i-check）です。昨年度までのPBT（紙を使用した試験方式）から1人1台端末を利用したCBT（コンピュータを使用した試験方式）に実施方法が変更されました。27日（木）、操作習熟とシステムの動作確認を目的として、ウォーミングアップ問題を実施しました。



本調査で使用される可能性のある音声の聞き取りや、さまざまな解答方式（記述、選択、囲む等）に対して、子どもたちは正確に素早く操作していました。機器やネットワークの大きな不具合もなく、無事に本番を迎えられそうです。

CBTを活用する意義として、

- ① 解答データを機械可読のビッグデータとして蓄積できる
 - ② ICT 端末上で出題・解答することで、多様な方法・環境での出題・解答が可能になる
 - ③ 電子データにより問題・解答を配信・回収することで負担を軽減
- ※引用：令和7年度以降の全国学力・学習状況調査（悉皆調査）のCBTでの実施について
【概要】令和6年9月改定（文部科学省総合教育政策局）

が挙げられています。

学校においては、「より広い領域・内容等について学校全体の課題を把握できるようになり、きめ細やかな指導改善につなげることができる。また、学校としての経年変化も確認できる」とされています。夢を実現するための礎となる「確かな学力の育成」に向け、授業と家庭学習の両面から指導改善につなげてまいります。保護者の皆さまには、側面からの支援（ペースメーカー・サポーター・ファシリテーター）をこれからもよろしくお願いいたします。



貴重な体験ができました！

～合志市小中学校音楽会～

20日（木）、「日頃の音楽活動の成果を十分に発揮するとともに、他校の演奏を聴き、今後の学習に役立てる」ことを目的として、合志市小中学校音楽会が本校体育館で開催されました。合志小学校、南ヶ丘小学校、合志南小学校の4年生児童が、各校の特色を生かした元気一杯の合唱や演奏を披露してくれました。本校からは、3年6組、合唱部、吹奏楽部が出演し、吹奏楽部からは楽器の紹介をクイズ形式で行いました。「中学生の綺麗で迫力ある歌声、芸術性の高い演奏が聴けて、とても貴重な経験ができました」と小学校の校長先生方から嬉しい感想をいただきました。素敵な小中交流の時間になりました。



正しく美しい日本語を学ぶ

～合志市ことば教育推進事業～

18日（火）・26日（水）に、「ことば教育」授業を1年生で実施しました。この授業は、「美しいことばに触れることを通じて、日本人としての感性を磨き、日本や郷土合志の文化や伝統を大切に、夢の実現を目指す子どもを育てる」ことを目的に、平成22年から市内の全小中学校で取り入れられたものです。発声練習や詩の朗読に挑戦しましたが、元熊本放送局アナウンサーのI氏からは、「相手に伝わるように話すためには、はっきり、口を大きく開けて発声することが大切です」とのご助言をいただきました。身振り手振りを交えた熱心なご指導に子どもたちも自然に引き込まれていました。



※ご意見や感想をお待ちしています。「見ました」の一言でも構いません。

保護者名（ ）